

正しい知識を持って、自分も相手も大切に ～性教育講座～

12月3日(木)の5校時に、西口クリニック婦人科院長の野口まゆみ先生をお招きし、「きちんと知ってほしい～性感染症～」と題して、性教育講座が行われました。先生から、二次性徴や妊娠の仕組み、性感染症、SNSと性被害などについてご説明があり、その内容を通して、命の大切さや異性への理解と思いやりを持つことの大切さをお話いただきました。

先生からは、「性」という字は、「心」と「生(生命)」から成り立っていますが、それは「お互いの心を理解して生きる」ことだと、冒頭でお話くださいました。生徒の皆さんは、これから大人になり、パートナーと出会って共に生きていくこととなると思います。今回お聞きした内容を忘れずに、相手を思いやる心を持ち続けてほしいと思います。



基本的な学力を定着させるために ～昼休みの学習の様子～

昼休み、各学級では入試に向けて生徒がそれぞれ自分の課題を持って、学習に励んでいます。基礎的な学力の確実な定着を目指し、特に学年では、数学に苦手意識を持っている生徒に対して、学習室で数学の計算問題に取り組ませています。問題に取り組む中で、「できた」「わかった」という声を少しずつ聞くことができるようになってきました。このような積み重ねを行い、今後も学力向上を図っていききたいと思います。



『当たり前』のありがたさ ～さまざまな行事が中止となって～

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、いろいろな行事が中止になりましたが、その中で唯一学校全体として取り組めた行事が、10月に行われた桃花祭でした。その桃花祭を通して、普段何気なく思っていることの大切さに気付いたことを、3組の高橋円花さんが書いた作文が、11月29日付福島県新聞の「みんなのひろば」に掲載されましたので、お読みください。

新型コロナウイルスの影響で、さまざまな行事が中止されている。私たち三年生が楽しみにしていた修学旅行が中止になってしまった。

一度は、九月実施に延期になったのだが、やはり危険だということで中止が決まった。とても残念だった。しかし、私の学校の文化祭は、「合唱だけはやる」ことになった。それは本当に良かった。新型コロナウイルスの感染を防ぐために、一人一人が歌う位置の間隔を随分開けた。そして、歌う合唱曲も、一クラスで一曲だけになった。その曲に懸けるしかなかったのだ。

でも、今までよりクラス全員の気持ちが一つになったような気がする。「聴いている人が心を動かされるような合唱を作り上げたい」と思っていた。

新型コロナウイルスによって、今まで当たり前だと思っていたことが、決してそうではないことに気付かされた。これを機に、これからは物事のありがたみを大切にしていきたいと思う。

<第2学期 第16週の予定>

月日	朝	1	2	3	4	5	6	行事等
12/ 7(月)	数20	月1	月2	月3	月4	月5	月6	Ⅲ期時間割開始 短縮 進路指導委員会
12/ 8(火)	計算	火1	火2	火3	火4	火5	火6	専門委員会 清掃なし
12/ 9(水)	計算	水1	水2	水3	水4	水5	水6	私立高校願書記入指導(6校時～)
12/10(木)	計算	木1	木2	木3	木4	木5	木6	
12/11(金)	計算	金1	金2	金3	金4	金5		計算大会(朝自習の時間)

※ 9日(水)は、6校時から私立高校の願書記入を行います。清書まで終わらせる予定ですので、下校が少し遅くなる場合があることを、あらかじめご了承ください。